

一般講演

講演12分 (1鈴10分・2鈴12分), 討論3分 (3鈴15分)

第2日 3月15日(金) A 会場 (筑波大学・第3エリア A 棟 204室)

午前の部 9:15~11:45

- 9:15 A201 抑制性グルタミン酸受容体の機能的発現量決定に関わるアミノ酸の同定
○古谷章悟¹, 喜多知², 布施利紀², 中谷有里³, 三浦由夏³, 尾添嘉久², 松田一彦¹
(1 近畿大・農, 2 島根大・生資科)
- 9:30 A202 4-Substituted 5-(4-piperidyl)-3-isothiazolols as competitive antagonists of insect GABA receptors
○Genyan Liu, Tomo Kita, Kazuki Nomura, Fumiyo Ozoe, Kenjiro Furuta, Izumi Ikeda, Yoshihisa Ozoe (Dept. Life Sci. Biotechnol., Shimane Univ.)
- 9:45 A203 イエバエ由来ヒスタミン作動性塩素イオンチャネルのアゴニストおよびアンタゴニストに対する応答
○野村和希, 入江貴裕, 喜多知, 尾添富美代, 尾添嘉久 (島根大・生資科学)
- 10:00 A204 キナゾリン型阻害剤を用いたミトコンドリア NADH-ユビキノン酸化還元酵素(複合体-I)のドメイン間相互作用の解明
○村井正俊¹, 真下佑子¹, Hirst Judy², 三芳秀人¹ (1 京都大院・農, 2MRC Mitochondrial Biology Unit, UK)
- 10:15 A205 カメムシ由来 4-oxo-(E)-2-hexenal の各種昆虫に対する運動機能阻害活性の比較
○野下浩二, 阿部 誠, 田母神 繁 (秋田県大・生資科学)
- 10:30 A206 昆虫培養細胞株における殺虫剤に対する感受性の違い
○秋月 岳 (農生資研)
- 10:45 A207 フェノールアミン GPCR 遺伝子のカイコ幼虫および成虫組織における発現解析
○大谷知弘¹, 高尾 悠¹, 喜多知¹, 尾添富美代¹, 東 政明², 尾添嘉久¹ (1 島根大・生資科学, 2 鳥取大院・連農)
- 11:00 A208 Pyridalyl の作用機構研究 —ハスモンヨトウ血球への作用と抗酸化剤前投与の影響—
○夏原活也¹, 田中利治² (1 住友化学, 2 名大院・生命農学)
- 11:15 A209 デング熱媒介蚊のピレスロイド剤抵抗性機構
○葛西真治, 駒形 修, 糸川健太郎, 小林睦生, 富田隆史 (国立感染研)
- 11:30 A210 フルベンジアミド低感受性コナガに関する研究
○犬飼佳代¹, 坂田和之¹, 森 恵美子², 黒川竜紀², 木村 祐², 清中茂樹^{2,3}, 森 泰生^{2,3} (1 日本農薬, 2 京大院・工, 3 京大院・地球環境)
-

第2日 3月15日(金) B会場 (筑波大学・第3エリア A棟 402室)

午前の部 9:15~11:45

- 9:15 B201 新規殺菌剤テブフロキンに関する研究(第1報) —創薬—
○山本一美, 寺岡 豪, 松村 誠, 今村圭一, 栗原 寛, 中西 希, 三富正明, 魚本勝人
(Meiji Seika ファルマ)
- 9:30 B202 新規殺菌剤テブフロキンに関する研究(第2報) —生物活性—
○山本憲太郎, 寺岡 豪, 松村 誠, 山本一美, 梅村賢司, 三富正明, 魚本勝人 (Meiji Seika ファルマ)
- 9:45 B203 新規殺菌剤ピリオフェノン (プロパティ®) に関する研究~第4報 各種病害に対する防除効果
○小川宗和, 西村昭廣 (石原産業)
- 10:00 B204 新規殺菌剤イソフェタミド (ケンジャ®) に関する研究 ~第1報 イソフェタミドの基本活性と作用特性
○佃 晋太郎, 小川宗和, 三谷 滋 (石原産業)
- 10:15 B205 講演取消
- 10:30 B206 新規除草剤 イプフェンカルバゾンに関する研究 第7報 水稲用除草剤としての作用特性(5)
○兼松 慧, 小山公平, 菱池宣弘, 高畑好之, 竹内 崇 (北興化学)
- 10:45 B207 ピロキサスルホンのワタ作用除草剤としての適用性
○佐藤敦¹, 小林正典², 板屋大吾¹, 山地充洋¹ (1 クミアイ化学工業, 2 K-I Chemical U. S. A. Inc)
- 11:00 B208 抗ガン物質 JBIR-23 の合成研究
○清田洋正, 岡田弘二, 阿美利幸, 齋藤亜紀, 山田てい子, 桑原重文 (東北大院・農)
- 11:15 B209 *N*-alkyl-2-azaadenosines の合成並びに生物活性
○設楽研司, 杉山民二 (明治大院・農)
- 11:30 B210 抗微生物活性を有する(+)-dihydroguaiaretic acid 誘導体の定量的構造活性相関解析
○長谷部綾香¹, 西脇 寿¹, 丸山雅史¹, 阿野嘉孝¹, 秋山浩一², 山内 聡¹ (1 愛媛大・農, 2 愛媛大・総合科学研究支援セ)
-

第2日 3月15日(金) B会場 (筑波大学・第3エリア A棟 402室)

午後の部 13:30~17:15

- 13:30 B211 スパイス中の残留農薬一斉分析の検討 ―夾雑物に着目した改良―
○手銭良太郎, 渡邊優子, 山崎真央, 大坪祥人 (日本エコテック・大阪分析セ)
- 13:45 B212 グリホサートとグルホシネートおよび代謝物のLC-MS/MS一斉分析法開発
○永富康司, 吉岡俊暁, 柳沢真由美, 宇山敦生, 望月直樹 (アサヒグループホールディングス・食の安全研)
- 14:00 B213 Non standard elution profiles in stereoselective HPLC and GC of pesticides
○Torsten Spitzer (Environmental, Industrial and Food Analysis, Germany)
- 14:15 B214 ICPによるマンガンを指標としたマンゼブの簡易分析
○正司和之, 山口正洋, 田代暢哉 (佐賀上場営農セ)
- 14:30 B215 銀微粒子構造体とラマン分光法を用いたネオニコチノイド系農薬の検出
○玄 大雄¹, 角田英男², 上本好仁³, Wuled Lenggoro⁴ (1 農工大院・BASE, 2 植物情報物質研究セ, 3 神奈川県産技セ, 4 農工大院・工)
- 14:45 B216 縮分操作及び部位別分析が大型果菜類中の残留農薬の分析値に与える影響
○矢島智成, 長田拓也, 藤田眞弘, 富山成人, 飯島和昭, 佐藤 清 (残研)
- 15:00 B217 大豆試料中残留農薬の加工調理品における分布
○坂 真智子¹, 狛 由紀子¹, 皆川保雄², 佐藤 清¹ (1 残研, 2 日植防・千葉試験場)
- 15:15 B218 農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第2報 アベイラビリティ評価の意義
○清家伸康, 元木 裕, 稲生圭哉, 大谷 卓 (農環研)
- 15:45 B219 農薬の後作物残留リスク評価に関する研究 第3報 水抽出法による農薬の土壌残留性評価
○元木 裕¹, 岩船 敬², 清家伸康¹, 大谷 卓¹ (1 農環研, 2 農水消費安全技術セ)
- 16:00 B220 キュウリのディルドリン濃度に影響を及ぼす各種要因
○大谷 卓¹, 清家伸康¹, 岡本真理², 齋藤 隆³, 遠藤昌伸⁴ (1 農環研, 2 山形農総研セ, 3 福島農総セ, 4 新潟農総研・園研セ)
- 16:15 B221 前作キュウリに使用した農薬の後作コマツナへの移行 (第2報)
○青木こずえ (高知農技セ)
- 16:30 B222 帯電微粒子水による作物の残留農薬の低減効果
○望月 証¹, 神頭武嗣¹, 榊田幸広², 須田 洋² (1 兵庫農総セ, 2 パナソニック)
- 16:45 B223 土壌中のエンドスルファン除去のための吸着剤の検討
○殷 熙洙¹, 崔 謹亨², 洪 秀明², 馬場浩司¹, 崔 達洵² (1 農環研, 2 韓国国立農業科学院)
- 17:00 B224 パッシブサンプラーの河川農薬モニタリングへの適用の検討
○矢吹芳教¹, 相子伸之¹, 永井孝志², 稲生圭哉² (1 大阪環農水総研, 2 農環研)
-

第2日 3月15日(金) C会場 (筑波大学・第3エリア A棟 403室)

午前の部 9:15~11:45

- 9:15 C201 講演取消
- 9:30 C202 有人ヘリ・無人ヘリで松林に散布されたフェニトロチオンMCの飛散調査：新潟県胎内市での事例
○本山直樹¹，阿部 豊²，田畑勝洋³ (1 東農大・総研，2 日本緑化セ，3 岐阜県立森林文化アカデミー)
- 9:45 C203 茨城県桜川流域における水稲用農薬の挙動—本流および支流における水中濃度の比較—
○堀尾 剛，稲生圭哉，岩崎亘典，横山淳史，永井孝志，依田育子 (農環研)
- 10:00 C204 千葉県の代表的な水田土壌における水稲用除草剤の挙動把握と数理モデルによる解析
○山本幸洋¹，稲生圭哉²，近藤 圭^{3,4}，渡邊裕純³ (1 千葉農林総研，2 農環研，3 農工大，4 現 残研)
- 10:15 C205 農薬普及率の推計値を用いた地域性と経年変化の評価
○谷地俊二，永井孝志，岩崎亘典，稲生圭哉，横山淳史 (農環研)
- 10:30 C206 藻類生長阻害試験の統計解析方法：RExcelで行う非線形回帰分析
○永井孝志¹，安納弘親² (1 農環研，2 エスコ)
- 10:45 C207 OECDで開発されたMRL算出方法の概要
○松野倫也，高嶺祥子，北村恭朗，早川泰弘 (農水消費安全技術セ)
- 11:00 C208 島根大学における農薬のリスク教育の事例報告 (1)
○巢山弘介¹，山岸主門¹，小谷紀子¹，松本一郎²，工藤雅紀³，島田佳奈³ (1 島根大・生資科学，2 島根大・教育，3 島根大・理工)
- 11:15 C209 シュードノカルジア属細菌KSF27株による、ディルドリンの新規代謝経路
○榊原風太^{1,2}，片岡良太³，伊藤虹児^{1,2}，山崎健一²，畠山誉史²，川島藤正^{1,2}，佐藤勇氣⁴，清田洋正⁴，岡田早苗¹，高木和広^{2,1} (1 東農大，2 農環研，3 山梨大，4 東北大)
- 11:30 C210 2種複合微生物系と木質炭化素材を組み合わせたHCHs実汚染土壌の浄化
○高木和広，山崎健一，畠山誉史 (農環研)
-

第2日 3月15日(金) C会場 (筑波大学・第3エリア A棟 403室)

午後の部 13:30~17:15

- 13:30 C211 Induction of quinoprotein formation by L-DOPA in cucumber and its involvement in phytotoxic action
○Muhammad Naeem Mushtaq, Yukari Sunohara, Hiroshi Matsumoto (Univ. of Tsukuba)
- 13:45 C212 新規除草剤イプフェンカルバゾンに関する研究 第8報 イプフェンカルバゾンがタイヌビエの脂質に及ぼす影響
○近藤 智¹, 木戸庸裕¹, 西田生郎², 太田啓之³ (1 北興化学, 2 埼玉大院・理工, 3 東工大・バイオ研究基盤支援総セ)
- 14:00 C213 タイヌビエ多剤抵抗性系統において高発現するベンスルフロンメチル代謝シクロム P450 の同定
○岩上哲史¹, 遠藤真咲², 雑賀啓明², 奥野潤一³, 中村直紀³, 渡邊寛明⁴, 横山昌雄³, 土岐精一², 内野 彰⁴, 稲村達也¹ (1 京大, 2 生物研, 3 植調研, 4 中央農研)
- 14:15 C214 ノジリマイシンによる根寄生雑草ヤセウツボ種子の発芽と糖代謝への影響
○若林孝俊¹, 安本周平¹, 明石智義², 青木俊夫², 杉本幸裕³, 太田大策⁴, 村中俊哉¹, 岡澤敦司^{4,1} (1 大阪大院・工, 2 日本大・生物資源, 3 神戸大院・農, 4 大阪府大院・生命環境)
- 14:30 C215 PIP-1 の分解耐性の向上とその植物防御応答誘導活性に対する影響
○金 容賢, 宮下 正弘, 宮川 恒 (京大院・農)
- 14:45 C216 ジベレリン受容体に関する機能阻害剤の探索研究
○尹 禎敏, 中嶋正敏, Park Seung-Hyun, 安藤卓也, 福井康祐, 大谷征史, 中村英光, 浅見忠男 (東大院・農)
- 15:00 C217 超音波処理による植物病害制御の可能性
金丸雄太郎¹, 吉田隆延², 水上智道², 田中庸之², 寺岡 徹¹, 有江 力¹ (1 農工大院・農, 2 生研セ)
- 15:15 C218 イネばか苗病生物防除のための非病原性 *Fusarium* 属菌の新規処理方法
○加藤亮宏¹, 野中陽子¹, 徳永智美², 田中 淳¹, 倉内賢一³, 鈴木智貴⁴, 寺岡 徹¹, 有江 力¹ (1 農工大院・農, 2 農工大・農, 3 青森産技セ, 4 宮城古川農試)
- 15:45 C219 マイコウイルス由来タンパク質のイネいもち病菌生育抑制機構の解析
○森山裕充¹, 浦山俊一¹, 太田智子¹, 加藤 優¹, 福原敏行¹, 高橋 梓³, 東江昭夫³, 五ノ井 徹³, 有江 力², 寺岡 徹² (1 農工大院・細胞分子, 2 農工大院・植物病理, 3 千葉大院・真菌医)
- 16:00 C220 *Bacillus thuringiensis* によるトマト萎凋病生物防除の可能性
○西野沙希¹, 岩崎昌美¹, 吉田重信², 對馬誠也², 平山喜彦³, 百町満朗⁴, 寺岡 徹¹, 有江 力¹ (1 農工大院・農, 2 農環研, 3 奈良農総セ, 4 岐大・応生)
- 16:15 C221 Attenuated virulence of rice seedling blight-causative *Burkholderia plantarii* exposed to a sesquiterpene diol from *Trichoderma virens*

○Mengcen WANG, Makoto HASHIMOTO, Yasuyuki HASHIDOKO (Grad. Sch. of Agriculture, Hokkaido Univ.)

16:30 C222 香川県の土壌中でのフルアジナム及びフルスルファミドの挙動について

○中西 充 (香川農試)

16:45 C223 畑作用除草剤ピロキサスルホンの土壌吸着性から見られる米国土壌の傾向解析

○岡崎 亮, 千葉祐子, 吉村 巧 (ケイ・アイ研究所)

17:00 C224 新規除草剤メタゾスルフロンの土壌における動態

○草苺 啓, 大山智久, 井島康行, 小川和雅 (日産化学)

第3日 3月16日(土) B 会場 (筑波大学・第3エリア A 棟 402室)

午前の部 9:00~11:45

- 9:00 B301 ベンゼン環を有するニコチノイドの合成とワモンゴキブリのニコチン性レセプターにおける親和性
○池田 泉, 三島誠司, 宮崎枝里子, 馬場大地, 長谷川和俊, 尾添嘉久 (島根大・生資科学)
- 9:15 B302 γ -BHC 類縁体 (Hepta-, Penta- & Tetra-chlorocyclohexanes) の合成とその活性
○田中啓司^{1,2}, 永崎果鈴¹, 松田一彦¹, 尾添喜久³, 栗原紀夫⁴ (1 近畿大・農, 2 名古屋大・エコトピア科研, 3 島根大・生資科学, 4 京大)
- 9:30 B303 SEAP レポーターアッセイによるカイコオクトパミン受容体の薬理解析 (第2報)
野田啓太¹, 鴛海 央¹, 平島明法², 山本龍之介³, 大島賢治³, 林 直孝⁴, 今井哲弥⁴, 尾添嘉久⁵, 森村 茂¹, ○太田広人¹ (1 熊本大院・自然科学, 2 九大院・農, 3 熊本高専, 4 大塚アグリ, 5 島根大・生資科学)
- 9:45 B304 JH 受容体を標的とした新規 IGR スクリーニング系の開発
○粥川琢巳, 皆葉正臣, 篠田徹郎 (農生資研)
- 10:00 B305 *N*-(2-Phenyl-1*H*-imidazol-1-yl)benzamide 類縁体の合成と脱皮ホルモン受容体に対する結合性の評価
○横井大洋, 瀧本征佑, 中川好秋, 宮川 恒 (京大院・農)
- 10:15 B306 *N*-(置換ピラゾール-4-イル)ピラゾール-4-カルボキサミドの合成と殺菌活性 (1)
○小林 修¹, 渡邊文太¹, 川口高志², 齋藤淳子², 久津間誠一², 平井憲次¹ (1 相模中研, 2 北興化学)
- 10:30 B307 *N*-(置換ピラゾール-4-イル)ピラゾール-4-カルボキサミドの合成と殺菌活性 (2)
○川口高志¹, 小林 修², 渡邊文太², 平井憲次², 齋藤淳子¹, 久津間誠一¹ (1 北興化学, 2 相模中研)
- 10:45 B308 新規殺菌剤 pyriofenone の創製とその生物活性
○樋口浩司, 小川宗和, 西村昭廣, 三谷 滋, 西出久哉 (石原産業)
- 11:00 B309 アミド系殺菌剤の探索研究
小森 岳, 臼井真由美, 大平大輔, 有本 翔, ○塩田隆之, 吉本祐也, 高石昌直, 松崎雄一, 倉橋 真 (住友化学)
- 11:15 B310 *N*-Acyhomoserine lactone 生合成阻害剤の開発
○藤井裕城, 前中理沙, 甲斐建次, 林 英雄 (大阪府大院・生命環境)
- 11:30 B311 病原感染イネにおけるオーキシン代謝
○大西 敦子¹, 田中千尋¹, 青木秀之², 宮下正弘¹, 宮川 恒¹ (1 京大院・農, 2 中央農研)
-

第3日 3月16日(土) B 会場 (筑波大学・第3エリア A 棟 402室)

午後の部 13:30~15:00

- 13:30 B312 植物シグナル物質メチルジャスモン酸の機能解析
○田母神 繁¹, 野下浩二¹, 阿部 誠¹, ガネシュ・クマール・アグラワール², ランディープ・ラクワール³ (1 秋田県大・生物資源、2Research Laboratory for Biotechnology and Biochemistry、3 筑波大)
- 13:45 B313 CBTC とは異なるジベレリン代謝酵素阻害剤の探索
○大谷征史, 尹禎敏, Seung-Hyun Park, 中村英光, 浅見忠男, 中嶋正敏 (東大院・農)
- 14:00 B314 イネ病害抵抗性を誘導する新規アシルポリアミン誘導體
○岩川純也¹, 彦坂政志¹, 中村英光¹, 前田 哲², 森 昌樹², 浅見忠男¹ (1 東大院・農、2 農生資研)
- 14:15 B315 オオムギにおけるイネ科斑点病菌の感染による芳香族アミンの蓄積
○石原 亨¹, 八木佑香里¹, 宮川 恒², 中島廣光¹ (1 鳥取大・農, 2 京大院・農)
- 14:30 B316 マメゾウムシの同属異種間の認識に関わる成分の解析
○中根権人, 福田一人, 篠塚絢美, 田島昌典, 下村健二, 佐々木康幸, 大澤貫寿, 伊藤晋作, 矢島俊介 (東農大・応生)
- 14:45 B317 二級トシラートの立体反転を活用したメチル分岐を有する昆虫フェロモン類の不斉合成
○田栗知憲, 村木優太, 藤井 透, 山本雅信, 安藤 哲 (農工大院・BASE)
-

午前の部 9:00~11:45

- 9:00 C301 仁淀川水系柳瀬川における水稲用除草剤の流出調査
○佐藤敦彦, 清遠亜沙子, 市原 勝 (高知農技セ)
- 9:15 C302 A simulation model for predicting pesticide dissipation in agricultural soil
-Development, validation and application-
○Dang Quoc Thuyet¹, Piyanuch Jaikaew¹, Pinit Somjunyakul¹, Hirozumi Watanabe¹, Satoru Ishihara², Takashi Iwafune², Yasuo Kitamura², Yukihiro Yamamoto³ (1Tokyo Univ. of Agric. and Technol. , 2Food and Agricultural Materials Inspection Center, 3Chiba Prefectural Agriculture and Forestry Research Center)
- 9:30 C303 Temperature dependency in degradation and adsorption for butachlor and pyrazosulfuron-ethyl in paddy water and soil
Junghun Ok¹, Hoang Thu Trang¹, ○Hirozumi Watanabe¹, Dang Quoc Thuyet¹, Julien Boulange¹, Satoru Ishihara², Takashi Iwafune², Yasuo Kitamura² (1Tokyo Univ. of Agric. and Technol. , 2Food and Agricultural Materials Inspection Center)
- 9:45 C304 Monitoring of atrazine residue in Andisol in summer and winter crop seasons
○Piyanuch Jaikaew¹, Dang Quoc Thuyet¹, Pinit Somjunyakul¹, Hirozumi Watanabe¹, Satoru Ishihara², Takashi Iwafune², Yasuo Kitamura² (1Tokyo Univ. of Agric. and Technol. , 2Food and Agricultural Materials Inspection Center)
- 10:00 C305 Development of a rainfall-runoff simulator for investigating pesticide transport in agricultural soil
○Pinit Somjunyakul¹, Junghun Ok¹, Piyanuch Jaikaew¹, Dang Quoc Thuyet¹, Hirozumi Watanabe¹, Satoru Ishihara², Takashi Iwafune², Yasuo Kitamura² (1Tokyo Univ. of Agric. and Technol. , 2Food and Agricultural Materials Inspection Center)
- 10:15 C306 Watershed scale modeling of rice pesticides in Colusa Drain Basin in California by PCPF-1@SWAT -Preliminary simulation
○Julien Boulange¹, Hirozumi Watanabe¹, Minghua Zhang², Yuzhou Luo², Jeff Arnold³ (1Tokyo Univ. of Agric. and Technol. , 2University of California at Davis, Department of Land Air and Water Resources, 3USDA, Agricultural Research Services)
- 10:30 C307 新規殺菌剤フェンピラザミンのラットにおける代謝
○永堀博久, 竹内逸人, 十亀祥久 (住友化学)
- 10:45 C308 新規除草剤イプフェンカルバゾンのラットにおける代謝
○北折和彦, 高瀬洋平, 秋山美佐紀, 神長聡子, 小村智博, 高井紀行 (北興化学)
- 11:00 C309 新規除草剤メタゾスルフロンの動物における代謝
○山岸由和¹, 大山智久¹, 井島康行¹, 横内敬司¹, 小川和雅¹, Sara Penketh² (1日産化学, 2ハンティンドン ライフサイエンス)

- 11:15 C310 BHC と関連化合物のラット肝ミクロゾーム嫌気条件下での代謝
○田中啓司^{1,2}, 辰己侑加理¹, 松田一彦¹, 鈴木大典², 片山新太², 栗原紀夫³ (1 近畿大・農, 2 名古屋大・エコトピア科研, 3 京大)
- 11:30 C311 フルミオキサジンの妊娠時のPBPK モデルの構築および吸収率の用量依存性
○高久朋之, 永堀博久, 十亀祥久 (住友化学)
-

第3日 3月16日(土) C 会場 (筑波大学・第3エリア A 棟 403室)

午後の部 13:30~15:15

- 13:30 C312 カボチャ在来品種におけるヘプタクロル *cis*-エポキシド吸収の品種間差
○上野 達, 甲田裕幸 (道総研・中央農試)
- 13:45 C313 新規除草剤イプフェンカルバゾンの水稻における代謝
○高瀬洋平, 北折和彦, 秋山美佐紀, 神長聡子, 小村智博, 高井紀行 (北興化学)
- 14:00 C314 *In planta* 観察法を用いた根における親水性及び疎水性化合物の取り込み経路の解明
○山崎清志¹, 鶴田宏樹¹, 乾 秀之² (1 神戸大・連携創造本部, 2 神戸大・遺伝子セ)
- 14:15 C315 *Rhodococcus* 属によるエンドスルファンスルフェートの分解と代謝物の同定
○川島藤正^{1, 2}, 片岡良太³, 小竹正晃⁴, 清田洋正⁴, 山崎健一², 榊原風太^{1, 2}, 岡田早苗¹, 高木和広^{2, 1} (1 東農大, 2 農環研, 3 山梨大, 4 東北大)
- 14:30 C316 デイルドリン分解糸状菌 *Mucor racemosus* DDF 株によるアルドリントランスジオールのリン酸化
○山崎健一¹, 高木和広¹, 片岡良太², 小竹正晃³, 山田てい子³, 清田洋正³ (1 農環研, 2 山梨大, 3 東北大)
- 14:45 C317 講演取消
- 15:00 C318 メトキシクロルの水・土壌環境中での分解に係る *Bradyrhizobium elkanii* およびその近縁菌の働き
○薩摩孝次, 増田 稔, 鴨川愛子, 亀代麻衣子, 林 靖, 佐藤 清 (残研)
-